

## 雨水を利用したブドウ 「シャインマスカット」の根域制限栽培システム

高い収益が期待できるブドウ「シャインマスカット」について、宮城県農業・園芸総合研究所では、津波被害を受けた農地でも栽培が可能な栽培システムを開発し、その栽培システムを用いた場合の収量への効果を明らかにしました。

### ☆ 技術の概要

1. 本栽培システムは、蓄電式ソーラー自動灌水、根域制限そして雨水集水の3つを組み合わせたものです。設置場所の土壌の影響を受けず、電力未供給地帯でも自動灌水が可能です(図1)。
2. 本栽培システムの10a当たりの資材費は、約270万円です。
3. 自動灌水システムは、設定灌水量を基準に日射量と日照時間に応じて灌水量が調整されます。
4. 10aに対し6000Lの貯水タンクを設置した場合、総灌水量に占める雨水の割合は、定植2年～4年目にかけて83%～92%になりました。
5. 本システムで栽培したブドウ「シャインマスカット」定植4年目の平均1房重は約600g、10a当たり換算収量はおよそ2000kgになりました(図2)。

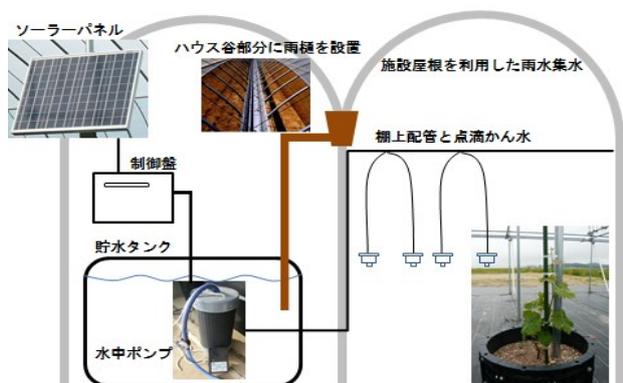


図1 栽培システムのイメージ

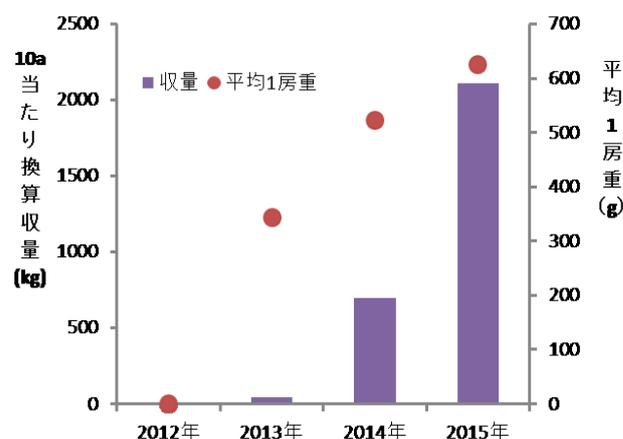


図2 根域制限栽培における10a当たり換算収量と平均1房重(2012年～2015年)

※ 培土量は200L、栽植密度は樹間6m x 列間2.5m  
整枝・剪定法はI型整枝・短梢剪定です。

### ☆ 活用面での留意点

1. 除塩の進んでいない土地、排水不良地、大規模な土壌改良が必要な土地などで普及が見込まれます。
2. 導入する際は補助的な水源を確保する必要があります。
3. 詳細については、宮城県農業・園芸総合研究所(電話:022-383-8132)へお問い合わせください。

(果樹茶業研究部門 企画管理部 果樹連携調整役 和田 雅人)